

# 2022 年度事業報告

## ・全体総括

---

代表者会議をはじめとする主要会議が対面に戻り、各種販売会やイベントも復活するなど、コロナ前を取り戻した一年となりました。学習会は、職員交換研修の参加人数も元に戻り、ニーズの高さを示すとともに、職員個々の課題解決に向けた取組として意義深いものとなっています。新井豊吉先生をお招きした事例検討会では、事業所の実際の困難事例を元に、グループワークの仕方を学びながら、連絡会全体で、1 事業所の課題に取り組めたことは大きな収穫であり、これからの学習会の在り方を示したものとなりました。

また、「ほりで～ぷらん」の実施について、関係団体と連携を図り、安定した運営ができました。「わくわく～」は最初の編集会議の前にプレ編集会議を行うことで、連絡会の意見を集約し、編集会議から発行までスムーズに行うことができました。新たに、任意ではありますが、調布市自立支援協議会を経た「ちょうふ災害福祉ネットワーク」も開始しました。

障害福祉課との懇談での要望に、迅速に対応していただくなど、例年同様障害福祉課との良好な関係を感じられる 1 年となりました。

## ・定期総会

---

19 回目となる定期総会を行い 2021 年度の事業報告、2022 年度の事業計画及び組織体制について決議を行いました。

日時：2022 年 4 月 28 日（木） 於：調布市こころの支援センター団体室 A・B オンライン併用  
出席：30 団体（うちオンライン 10 団体） 委任状：11 団体

## ・代表者会議（年 6 回）

---

今年度は新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら例年とはことなる開催でしたが、広い会場を確保したりオンラインの活用等により、各団体との情報交換や情報共有に努めました。

（第 1 回） 4 月 28 日（木） 於：調布市こころの支援センター団体室 A・B（23 団体、リモート 9 団体）

（第 2 回） 6 月 23 日（木） 於：調布市こころの支援センター団体室 A・B（23 団体、リモート 6 団体）

（第 3 回） 8 月 2 日（火） 於：調布市市民プラザあくろす（14 団体、リモート 6 団体）

（第 4 回） 10 月 20 日（木） 於：調布市こころの支援センター団体室 A・B（29 団体）

（第 5 回） 12 月 22 日（木） 於：調布市こころの支援センター団体室 A・B（24 団体）

（第 6 回） 2 月 17 日（金） 於：調布市市民プラザあくろす（25 団体）

## ・分科会

### ・就労継続支援 B 型

市長との懇談の議題や、学習会の内容について話し合いました。

## ・生活介護

市長との懇談の議題や、学習会の内容について話し合いました。

## ・児童

- ① 児童部会世話人会の体制も新しくなり、障害福祉課との意見交換会や社会福祉事業団からの学習会等の新たな企画にも取り組みました。
- ② また、昨年度（2021年度）までの懸案事項であった『駐車場問題』も、今年度（2022年度）は一切のトラブルもなく安定した運用がなされました。主には調布特別支援学校駐車場が重要な案件でした。また、調布市とは今年度も報酬改定の説明会等で引き続き連携を図りました。

## ・調布市長との懇談

今年度はオンラインではなく、対面での会議を開催することができ、意見交換ができたことは何より有意義な懇談会でした。

そして、例年同様、多岐にわたる議題を前向きにに応じていただき、貴重な対話の機会となりました。

日時：2023年2月17日（金）16：30～18：00

場所：調布市市民プラザあくろす 3Fあくろすホール（参加 25 団体）

議題：（1）家賃補助の継続について

（2）官公需の拡大について

（3）調布駅前広場近隣での福祉ショップの可能性について

（4）調布市駅前広場の再開発について

（5）総合福祉センター移設について

（6）障害状況や年齢にかかわらず利用できる医療機関の可能性について

（7）障害者の健康増進を目的としたスポーツができる場の創出について

（8）自治体の遊休地の活用について

（9）福祉人材の支援向上と職場定着を目的としたアドバイザーの派遣について

（10）物価高騰補助金について

（11）その他

## ・調布市障害福祉課との懇談

代表者会議で課題を整理し、共通な議題を中心に回答いただきました。引き続きコロナウィルス対策援助やBCP策定研修の実施について前向きな回答をいただきました。

日時：2022年8月2日（火）16:30～18:00

場所：調布市市民プラザあくろす 3Fあくろすホール（参加 14 団体、リモート 12 団体）

議題（1）家賃補助の継続について

（2）新型コロナウイルス感染症対策について

① コロナ対策について

② ワクチン接種について

（3）調布市役所売店の代替販売先について

（4）官公需拡大について

（5）ネットワーク支援事業の継続について

（6）地域連携協定・イトーヨーカドーとの連携について

- (7) 災害時の危機管理について
- (8) 総合福祉センター移設について
- (9) アルコールチェッカーの義務化について
- (10) 調布版のBCP策定研修の実現化について
- (11) 通院同行の現状について
- (12) 障害者の健康増進を目的としたスポーツができる場の創出について
- (13) その他

## **・学習会、施設交換研修**

### **○学習会**

3年ぶりに集合形式で行い、新井豊吉先生をお招きし、グループワークの仕方を学び、知的障害通所施設における支援困難事例をもとにグループワークで支援方法について学びました。

日 時：2023年3月29日(水) 17:30～20:00

会 場：はあと・ふる・えりあ

講 師：新井豊吉（東京家政大学特任教授）

内 容：グループワークの仕方を学ぶ／「はあと・ふる・えりあ」の困難事例発表。送迎車から降りられない利用者への支援 一支援困難な事例を通して職員の知恵を創出する一／グループ討議

参加者数：51名

### **○施設交換研修**

新型コロナウイルス感染防止対策を取ることを基本として、全事業所を対象に希望を募りました。実績は以下のとおりです。

研修期間：令和4年9月～令和5年2月

参加者数：生活介護・就労支援B 34人 放課後等デイ 15人 計49人

## **・経営ネットワーク支援事業**

1992年に設立された調布市福祉作業所等連絡会は、東京都の包括事業の一環として2011年から調布市経営ネットワーク支援事業の補助金を交付されています。今年度の加盟団体は36団体68事業所となり、調布市内の障がい児童も含めた福祉事業所ネットワークとして幅広い取り組みを展開してきました。コロナ禍で制約を受けた受注作業や合同イベントも、社会全体がウィズコロナへと進む中で徐々に活動を取り戻すことが出来ました。

東京都ネットワーク支援事業の会合やイベント等も今年度はオンラインから、オンライン併用の対面研修の開催、そして完全に対面での会合に戻ることが出来ました。

また、長年当事業に携わっていただいた松井さんが退職され、新たな職員体制でのスタートとなりました。

### **1. 「わくわ〜く」の発行**

昨年度より編集者がNPO法人ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネットに交代しリニューアルされた「わくわ〜く」は、10月と3月に2回発行されました。21号は、前年度からの企画「わくウォーク」でつつじヶ丘地域の事業所やコミュニティの紹介、22号は同じく深大寺周辺地域の福祉情報や

地域情報を提供しました。連絡会の広報誌として幅広い地域団体や企業も紹介することができ、地域との連携がより深まった内容となりました。

## 2. 販路拡大

今年度は3年ぶりに3市合同販売会（多摩・府中）「ほっとハート」を開催することが出来ました。コロナの状況により一度は延期を余儀なくされたが、どんな規模でも良いので再開したいとの関係者の熱い思いもあり、1月28日（土）に32の事業所があつまり実現できました。また、これまで希望の家が主催していた「パルコ前販売会」も連絡会主催へと移行し2年ぶりに開催できました。その他、民間業社からの問い合わせや発注も数件あり、ネット上や関係機関への情報提供が販路の開拓につながりました。

### 常設店舗販売等

一度中断した東山病院内売店での販売も、委託業者の理解と協力により6月より再開しました。その他の販売場所は、コロナ感染防止の状況に対応しながら断続的に販売継続に努めました。

店 舗	納 品 事 業 所			年間売上総額
東山病院 1階売店	5	クッキングハウス しごと場 すまいる はあとふる リフレッシュ工房		142,970円 (9月まで)
こころの健康支援センター	3	クッキングハウス しごと場 調布ドリーム		94,900円
総合福祉センター	11	クッキングハウス くすの木 しごと場 すまいる ドリーム はあとふる ぴいす ファースト ポピーの家 めじろ リフレッシュ工房		各事業所別
やさい畑	3	しごと場 はあとふる リフレッシュ工房		〃
ほっとれーる	8	クッキングハウス しごと場 すまいる そよかぜ はあとふる ぴいす ポピーの家 リフレッシュ工房		〃

## 3. 受注促進

メール便等、共同受注に関しては今年度も継続して取り組みましたが、延長続きの緊急事態宣言発令期間中は、各作業所内での作業活動への影響が大きく、全般に停滞、縮小がみられました。そのような状況下でも民間業者からの照会案件は3件あり、そのうち新規に取り組みされた受注は2件でした。

## 4. 障害理解のための取り組み、情報発信、地域啓発

### (ア) アート展

今回のパラアート展は、昨年度同様調布市文化・コミュニティ振興財団の協力を得て「まつり」をテーマとしたアート作品の制作やスタンプラリーを行いました。調布よさこいとコラボしたことによって、多くの来場者がありました。また、京王グループの特例子会社「京王シンシア」も参加し、京王グループ各所でポスター掲示など協力をいただきました。パラアート参加事業所を中心に外部講師による勉強会も3回開催し、今後のパラアートがより多くの人々につながる可能性を模索しました。

開催期間 令和4年8月25日から31日 たづくり2階北ギャラリー及1階ロビー  
参加事業所 27事業所

### (イ) 映画上映会

調布市シネマフェスタとコラボして福祉上映会は2年ぶりに開催することが出来ました。本来2年前に上映する予定であった「37Seconds」を「イオンシネマ シアタス調布」で上映。ほぼ満席の90席を埋めることができ、終了後は主演を務めた佳山明氏が登壇しトークセッションで会場も笑いあり、涙ありで盛り上がりました。開催にあたっては「映画のまち調布の推進に関する市民活動補助金」の交付を受けています。

### (ウ) ホームページの更新

ホームページに掲載する事業所数がパンクしてしまい、新たに容量を増やし情報更新や操作性、視認性の向上に努めました。今年度3月末に完成し次年度以降に情報発信のツールとして更なる活用を目指します。

## 5. 備品などの貸出

2015年度より各事業所の諸活動を支援すべく事務局で購入した備品(マイク、プロジェクター、スクリーン、コンパクトプリンター等)を各所に貸出しており、有効活用されています。貸出件数 9件(2019年度)、17件(2020年度)、24件(2021年度)29件(2022年度)

## 共同事業

---

### ① 共同受注作業

出張清掃作業等については戸外作業が主となるので、コロナウィルス感染防止に努めながら受注契約の維持継続を諮りましたが、館内清掃では、事業所の陽性者発生により急遽休業せざるを得ないこともありました。受注作業などは材料入荷数が減少し停滞することもありましたが、昨年度よりは復興の兆しがみられました。

- ・駐輪場清掃 : 市内7カ所の駐輪場を週1~2回、清掃・散水作業を6事業所で担当
- ・クリーンセンター清掃 : 新クリーンセンターの館内清掃を4事業所が交代で担当
- ・くすのき団地清掃 : 自治会より受託し2事業所が分担して毎月戸外清掃を実施
- ・六和精工 : 市内民間業者の組立作業を6事業所で分担し週1回程度納品

### ② 調布市役所ロビー展

展示会が新たにスタートしたのちの2019年度の9年目の開催から、コロナによる2年間の中止となっていたロビー展でしたが、今年度は3年ぶりに開催することができました。1週間の開催でしたが、大変賑わった展示会となりました。(売上321,548円)

当番事業所: 創造農園

期間 2022年11月7日(月)~11月11日(金)

参加事業所 すまいる、調布ドリーム しごと場大好き めじろ作業所 ぴいす  
リフレッシュ工房 創造農園(7事業所)

## ・受託事業

### ・公園清掃

各担当施設における清掃作業も含め、全体的に大きなトラブルはなく、スムーズに実施することができました。また昨年同様に布多公園の落ち葉清掃にも取り組みました。

参加事業所：くすのき作業所 ポピーの家 わかば第一事業所 わかば第二事業所 わかば事業所  
旭出調布福祉作業所 爽々苑 びいす クッキングハウス 調布市希望の家  
しごと場大好き はあと・ふる・えりあ（12 事業所）

### ・ごみリサイクルカレンダー配布

今年度は、年明け1月が配布期間となり、ふくしの窓と重なる期間もあり厳しいスケジュールの事業所もあり、進捗に関してごみ対策課より不安視されるところもありましたが、無事、期限内での配布完了ができました。

調布ヶ丘1丁目の担当事業所がらぶらんどから調布ドリームに引継がれ、初めての配布となりましたが問題なく配布完了となっています。今年度は、事前打ち合わせを行い報告、配布に関して事業所間での共有確認を図りました。

また、最新版の住宅地図の貸出も試み、昨年のような誤配等のミスはありませんでした。ただ、毎週の配布部数の報告についてはばらつきが見られたので、いま一度、定期報告など、統一したやり方が必要であると実感するところであります。

期間：2023年1月4日（水）～2月10日（金）（以降3月31日まで配布漏れ対応）

配布地域：市内およそ半分の地域

配布部数：69,510部

参加事業所：わかば事業所 わかば第一事業所 わかば第二事業所 しごと場大好き めじろ作業所  
ポピーの家 爽々苑 びいす はあと・ふる・えりあ リフレッシュ工房 こひつじ舎  
調布市希望の家 希望の家分場 ファーストステップ 調布ドリーム（15 事業所）  
（当番事業所 しごと場大好き）

### ・地域活動情報紙じよいなす配布

2014年度から開始されたじよいなすの戸別配布作業は、昨年度の反省からごみカレンダー配布時期と重ならないよう要望・調整しましたが、今年度も1月初旬に配布が確定となり、「ふくしの窓」「ごみカレンダー」と重複するため作業の受託には至りませんでした。

### ・メール交換

メール交換事業は例年通り、図書館・施設間・都庁交換・教育メール・こころの健康支援センター清掃の5業務を受託しました。

今年度も受託費を年間予定収入から各期ごとに配分する方法で行いました。ただし、図書館メールにおいて図書館側のシステム変更があり、年度途中で取り組み事業所の運行予定日と内容が変更になりました。公社からの8月からの変更後の運行表に基づいて各事業所に連絡をしました。合わせて配分額も変更になりますので、第4四半期で事務局が調整をしました。この調整が大変で何とか3月に各事業所に振り込むことができました。

また8月より染地分館が改修工事のため運行中止となりました。このようにメール交換におきましては、年度途中に変更等がでますので、事務局、取り組み事業所間での運行の様子、情報交換、課題解決の丁寧な話し合いの場が必要です。(担当事業所 ポピーの家)

参加事業所：しごと場大好き わかば第一作業所 わかば第二作業所 びいす やわらぎの家  
すまいる はあと・ふる・えりあ 第2ポピーの家 第3ポピーの家 こひつじ舎  
ドリーム ファーストステップ クッキングハウス ゆうわ〜く (14 事業所)

## ・ふくしの窓配布

「ふくしの窓」配布事業は、シルバー人材センターとともに各奇数月に年6回、14事業所で取り組みました。今年度も事務局を窓口として社会福祉協議会担当者と連携して配布数の調整をし、円滑な配布に努めましたが、新築マンションの増加等により各事業所間の納品数調整が必要となることが増えました。

参加事業所：わかば第一事業所 わかば第二事業所 しごと場大好き めじろ作業所 びいす  
ポピーの家 くすの木作業所 はあと・ふる・えりあ 爽々苑 リフレッシュ工房  
ドルチェ こひつじ舎 調布市希望の家 希望の家分場 希望の家深大寺  
(15 事業所)

## ・プロジェクト

### ・ほりで〜ぷらん

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、コロナ禍前と同様の参加者数を計画することは難しかったものの、企画を中止または延期することなく実施することができました。これまでご協力いただいた企業やスポーツチームによる企画の継続、それに加え、昨年度中止をせざるを得なかった企画の再調整、しばらく実施を見送っていたバスハイク企画を実施することができました。

昨年度発生してしまった参加者の怪我の教訓から企画の都度、安全性を考慮したプログラム内容を検討し、ご協力いただくスポーツ団体のコーチ等と情報共有しながら、参加者がより安全に参加できる企画を実行することができました。

下記のように実行委員会は、すべてオンライン会議で実施。(6回実施した令和3年度の実行委員会は年間19回)約2週間ペースで開催していた実行委員会の各委員の負担を軽減させるため、クラウド型グループウェア上で意見を集約。開催日数を減らすことができました。

#### 「実行委員会 開催日程と出席人数」

Zoom会議 (全15回)			
4/18 (月) 10名	7/26 (火) 12名	12/ 6 (火)	2/20 (月)
5/16 (月) 14名	8/15 (月) 10名	12/19 (月)	3/ 7 (火)
6/ 6 (月) 14名	9/ 5 (月) 13名	R5.1/16 (月)	3/27 (月)
6/28 (火) 12名	9/26 (月) 10名	2/ 6 (月)	

第1回	ラグビー「東芝府中ブレイブルーパス東京と交流」				
日時	令和4年6月18日 (土) 10:00~12:00 ※昼食の提供はなし、スポーツプログラムのみ				
場所	東芝府中事業所 人工芝グラウンド [ 東京都府中市東芝町1 ]				
参加者	21人	スタッフ	35人	東芝選手スタッフ	7人
協力団体	東芝府中ブレイブルーパス東京				

内 容	昨年度に引き続き2回目の企画。今年度は天然芝の整備期間中だったため、人工芝グラウンドで実施しました。昨年度、企画中に怪我人を出してしまったことを踏まえ、実行委員会において丁寧にプログラムを協議、手厚いスタッフ数のもと、各自参加者のペースに合わせてラグビーを楽しむ時間を共有することができました。「パントキック」「タックル」など各種ブース体験、プレイブルーパス東京選手陣に抱えてもらいながら「ラインアウト」等、普段できないことを体験でき、現役選手との交流を楽しむことができました。
-----	---

第2回	ブラインドサッカー&車いすバスケ「パラスポーツ体験会」				
日 時	令和4年7月9日（土）10：30～12：30				
場 所	市民大町スポーツ施設（体育館）[ 東京都調布市菊野台3-27-27-40 ]				
参加者	11人	スタッフ	21人	FC東京スタッフ	5人
協力団体	日本ブラインドサッカー協会 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会				
内 容	昨年度中止となった企画で、その時申し込みをされていた方を対象として実施しました。前半は「ブラインドサッカー」後半は「車椅子バスケットボール」両競技ともに現役選手や協会スタッフにお越しいただき、プレーを目の当たりにしながら体験しました。				
第3回	ダンス企画「FISHIBOYさんと交流」				
日 時	令和4年9月3日（土）10：00～11：30				
場 所	Aぷらん：市民大町スポーツ施設（体育館）[ 東京都調布市菊野台3-27-27-40 ] Bぷらん：はあと・ふる・えりあ（体育室）[ 東京都調布市小島町1-22-7 ] Cぷらん：リモート中継で各ご家庭から参加				
参加者	Aぷらん：14名 Bぷらん：4名 Cぷらん：4名	スタッフ	Aぷらん：21名 Bぷらん：4名		
コーチ	FISH BOYさん（RADIO FISH）				
内 容	昨年度中止となった企画を再募集するかたちで実施。ピープルデザイン研究所ご協力のもと、2箇所の会場と参加を希望しているご家庭をリモート中継で繋ぎながら企画を楽しむという新たな取り組みが大変好評でした。 FISHBOYさんが参加者のアイデアを振り付けとして取り入れ、その場で即興ダンスを作りあげていく過程が面白く、参加者も支援者も夢中になって踊ることができました。				

第4回	バスツアー企画「ダイバーシティ・パーク in 新宿」				
日 時	令和4年10月2日（日）12:20～16:30				
場 所	新宿中央公園[ 東京都新宿区西新宿2丁目11 ]				
参加者	6名	スタッフ	11人		
内 容	秋の行楽イベントとしてバスツアー企画を3年ぶりに実施しました。障害者スポーツを体験できるブースを中心に少人数グループで様々な競技を楽しみました。「手漕ぎバイク」や「ポッチャ」「雪滑り」等、簡単に体験できる工夫もされていて参加者も積極的に参加していました。当日は夏日だったこともあり、日陰を求めて休憩時間を希望する方もおり、予定より若干早めて帰路に着きました。				

第5回	アメフト企画「ディアーズフットボールチームと交流」				
日 時	令和5年1月21日（土）10：30～12：30				
場 所	市民大町スポーツ施設（体育館）[ 東京都調布市菊野台3-27-27-40 ]				
参加者	Aぷらん：14名 Bぷらん：1名	スタッフ	15名	チームスタッフ	19名
内 容	今回で5回目の開催。今年度は会場を一新、大町体育館で実施し、プログラム構成も会場に合わせ変更。各ブースでのプログラム体験は順番を待つことなくスムーズに取り組むことができました。チアダンスショーではチアダンサーの華やかな振り付けに手				

	拍子や簡単な振り付けで参加し、大いに盛り上がりました。 マスコットキャラクターディアーズくんとの触れ合いや選手やチアの皆さんが場を盛り上げてくださったお陰で参加者から多くの笑顔を見ることができました。
--	---

第6回	サッカー企画「FC東京コーチといっしょにサッカーを楽しもう」				
日 時	令和5年2月25日（土）10：30～12：00				
場 所	市民大町スポーツ施設（体育館）[調布市菊野台3-27-27-40]				
参加者	16人	スタッフ	16名	チームスタッフ	2名
内 容	今年度で3回目の実施。導入はサッカーボールを意識せず、参加者同士のコミュニケーションを楽しむプログラムからスタートし、その場に慣れてきたところから参加者の習熟度に合わせて内容にアレンジを加えていただきながら、どの方も満足する企画となりました。今年度の参加者においてはサッカー経験者が多く、後半は本格的なゲーム形式も行い、応援にも熱が入りました。				

## ・運動会

中止

## ・交流会

### ・スポーツ交流会

中止

## ・忘年会

中止

## ・事務局

年間9回開催

4月14日（木）、5月24日（火）、7月19日（火）、8月8日（月）、9月28日（水）

11月10日（木）、1月13日（金）、2月1日（水）、3月6日（月）、

感染予防対策に配慮しながら安全な事務局運営に努めました。

## ・派遣

- ・調布市障害者地域自立支援協議会（名古屋）
- ・調布市社会福祉協議会評議員（斉藤）
- ・共同募金調布地区協力会委員（諏訪）
- ・調布市福祉人材育成センター運営委員会（亀田）
- ・調布市障害者総合計画策定委員会（朝香・大澤）
- ・スポーツ協議体（亀田・名古屋・大澤）

# 2023 年度事業計画(案)

## ・今年度方針

---

今年度についても障害福祉課や調布市長との懇談・研修・交流等を継続していく中で、関係者や加盟団体を含めた繋がりを深めていきたいと考えております。

事務局体制・防災福祉ネットワーク・ほりで〜ぷらん・学習会等、検討していき、持続可能な組織を構築し、スケールメリットを生かした活動を行っていきます。

## ・定期総会（年1回、4月開催）

---

今年度も定期総会を開き、事業報告、事業計画、及び事務局体制等について検討し決議します。

## ・代表者会議（年6回、偶数月の第4木曜日）

---

昨年度に引き続き、連絡会全般にわたる広範な内容について話し合い、会の発展に努めます。

### ・分科会

#### ・就労継続支援B型

共同受注や都のネットワーク支援事業における受入体制の向上や、他の施設の取り組みを学ぶ施設見学などの検討をしていきます。

#### ・生活介護

生活介護事業の共有の課題を検討していきます。

#### ・児童

- ① 昨年度（2022年度）に開催した学習会が好評であったため、引き続き今年度（2023年度）の開催についても検討いたします。
- ② 今年度（2023年度）は報酬改定に加えBCPについても注視する必要性があり、障害福祉課からの情報収集と水平展開に努めます。

### ・調布市長との懇談

今年度も引き続き市長との対話を深め、有意義な懇談会としていきます。

### ・調布市との懇談

今年度も引き続き、障害福祉課との対話を深め、障害者（児）福祉の充実に努めます。

## **・経営ネットワーク支援事業**

感染予防に努めながらウィズコロナの新たな活動展開を模索しながら取り組みます。

### **1. 販路拡大**

これまで取り組んできた各種イベントもコロナウィルス感染予防対策を見据えて、安全な実施を模索し販路拡大のルート・基盤づくりにトライしていきます。

### **2. 情報発信**

各事業所、及び連絡会の事業・活動を広く市民に宣伝することは、障害者への理解を深め、福祉の輪を広げるうえで欠くことができないため、情報発信の基盤を一層かため、充実を図っていきます。

①わくわーく 年2回発行

②ホームページの更新等

新商品やイベントの紹介、あるいは事業活動の中でのトピックや成果等のニュースを、各事業所から収集しスピーディに掲載できるよう、ネット環境を整備します。

③映画上映会・アート展等の開催

映画の街・調布での障害理解のイベントとして、関係団体、市民等を含めたネットワークの中で情報交換し、連携強化を図って安全な実施に努めます。

## **・共同事業**

---

### **・共同受注作業**

事務局を窓口として実施してきた各種共同受注作業の安全実施を推進していきます。

### **・常設店舗販売**

東山病院売店の共同販売も再開したので、市内の常設店舗等での自主製品販売を今後も継続し、さらなる販路拡大を図っていきます。

### **・各種イベント展示販売**

今後のウィルス感染対策の状況をみながら、市や関係団体で催される各種イベントでの展示販売に、積極的に取り組んでいきます。

### **・調布市役所ロビー展**

市民へのアピールに絶好の機会なので、コロナ対策の状況に合わせてながら市庁舎内での開催を市へ働きかけていきます。（当番事業所：ぴいす）

## ・受託事業

### ・清掃業務

安定した受託事業の大きな柱として、今年度も受託していきます。駅前清掃は今年度から新たにスタートします。

(公園清掃・駐輪場清掃・団地清掃・クリーンセンター清掃・駅前清掃)

### ・ごみリサイクルカレンダー配布

新年度も引き続き、事務局、当番事業所と事業所間の連携・確認を密にして配布を実施します。期間中は全事業所で情報を共有しながら細心の注意をはらい、ミスや配布漏れが無い配布完了を目指します。ミスや配布漏れが生じた場合には連絡を取り合い迅速に対応します。

(当番事業所：ポピーの家)

### ・メール交換

昨年度の事故報告等をしっかりと生かして、取り組み作業所と事務局との話し合いの場をもちます。そして、メール室、公社、図書館等の関係機関との情報共有と円滑な意思疎通をすすめ丁寧で事故のない業務を行っていきます。

受託金の配分については、昨年度と同様各期当初の配分で行います。また、負担分割についての課題があります。(担当事業所 ファーストステップ)

### ・「ふくしの窓」配布

調布市社会福祉協議会との情報共有と円滑な意思疎通を進め、丁寧かつ事故のない業務を行っていきます。配布数量の調整については、事務局を窓口として連絡会内での調整に努めます。昨年どおり、各奇数月の月初5日間での配布となります。

### ・ふじみ交流プラザ館内装飾

クリーンセンター跡地に開業したランチ調布内にある公共施設「ふじみ交流プラザ」の施設内装飾を令和5年度から受託します。毎月交替で館内会議室の窓や廊下壁面等を季節感のある装飾や絵画で飾りつけを行います。

### ・地域活動情報紙「じょいなす」配布

今年度の実施期間は他の配架作業と重複しないよう協働推進課と協議・調整しながら安全実施に向け準備していきます。

## ・プロジェクト

---

### ・障害者余暇活動支援事業（ほりで～ぷらん）

民間団体の参画を含めた新たな実行委員会を中心に地域団体や学生ボランティアの協力も得ながら、コロナウイルス感染予防の状況を見ながら安全な実施を検討していきます。さらに運営主体の移行も含め今後の運営体制の検討を進め、障害者余暇活動支援事業の安定、定着を目指してとり組んでいきます。

### ・運動会

今年度も安全に配慮した楽しい運動会を目指して、新型コロナウイルス対策の状況により開催時期を検討し、実施に向け取り組んでいきます。

## ・研修・交流

---

### ・学習会、施設交換研修

学習会・施設交換研修ともに、実施に向け準備をしていきます。学習会は、内容によっては集合対面での参加だけでなくオンラインでのリモート参加も取り入れるなどして、状況に応じて柔軟に実施できるよう取り組んでいきます。

### ・交流会

スポーツ大会、忘年会等職員間の交流を目的としたイベントについては、コロナウイルス対策の状況をみながら企画実施を行います。

## ・組織体制

---

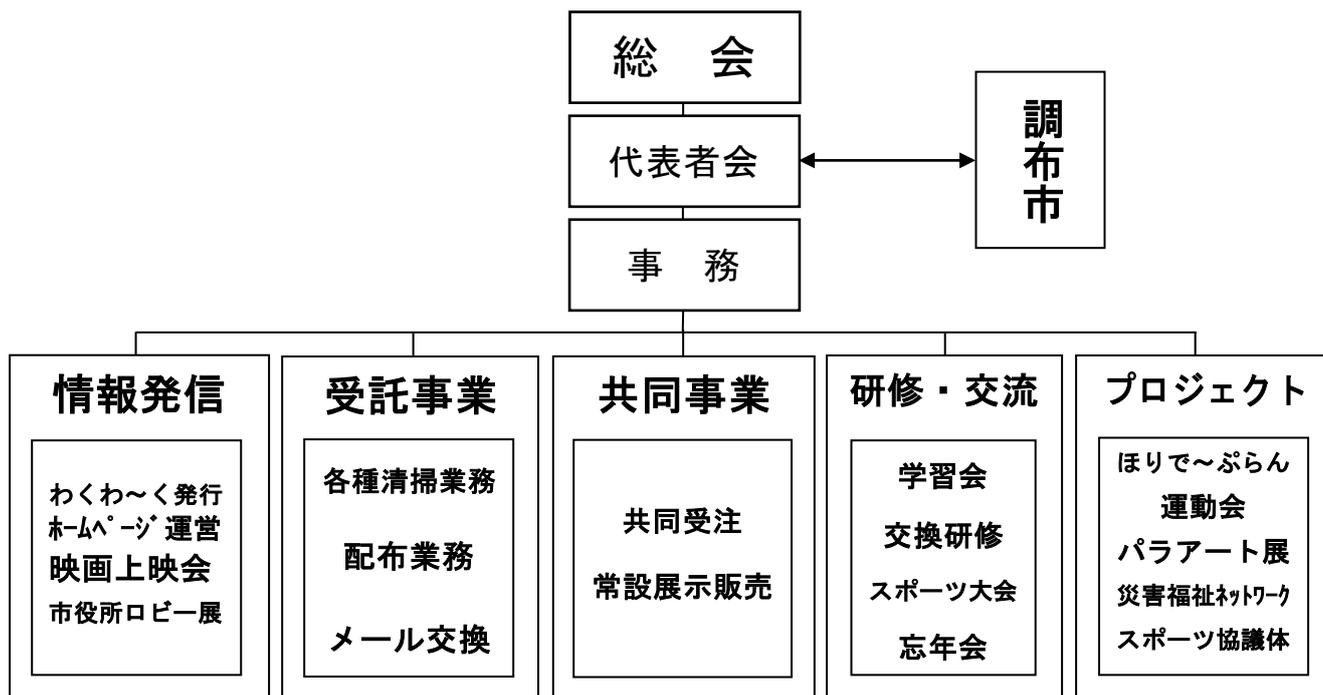
### ・事務局

今年度は事務局員の交代をスムーズに実施し、事務局内の役割分担により各セッションとの連絡調整・加盟団体・調布市・関連団体との連絡調整等を進めながら、円滑に運営できるよう努めます。

### ・派遣

- ・調布市障害者地域自立支援協議会（名古屋）
- ・調布市社会福祉協議会評議員（斎藤）
- ・共同募金調布地区協力会委員（諏訪）
- ・調布市福祉人材育成センター運営委員会（亀田）
- ・調布市障害者総合計画策定委員会（朝香・大澤）
- ・スポーツ協議体（亀田・名古屋・大澤）

## 2023年度調布市福祉作業所等連絡会組織体制



### 活動要領

セクション名	活動日	構成	内容
代表者会議	偶数月第4木曜日	加盟代表者	市との懇談・重要案件の決定・情報交換・研修事業・共同事業・委託事業・プロジェクトの招集
研修・交流	年数回	加盟施設担当者	研修・交換研修・スポーツ大会・忘年会
共同事業	必要に応じて随時	該当施設担当者	共同受注・展示会・常設展示販売
受託事業	受託内容に応じて日常的に実施。会議等は必要に応じて随時	該当施設担当者	清掃業務・メール交換・配布業務（ごみカレンダー等）
プロジェクト	プロジェクト内で決定	該当施設担当者	ほりで〜ぶらん（障害者余暇活動支援） パラアート展 運動会 ちょうふ災害福祉ネットワーク スポーツ協議体
情報発信	必要に応じて随時	該当施設担当者	わくわく編集会議・ホームページ更新 映画上映会実行委員会・市役所ロビー展
事務局	必要に応じて随時	下記担当者	各セクションとの連絡調整・代表者会の招集・市との連絡調整・会計・経営ネットワーク支援事業

### 事務局

事務局候補	所属	氏名
代表	めじろ作業所	大澤 宏章
事務局長	ふみ月の会	遠藤 愛弓
総務	しごと場大好き	亀田良一郎
総務	創造農園	諏訪 智
総務	ファーストステップ	名古屋 一
総務	ちょうふの風	嶋田 浩一
総務	調布市希望の家	本田 裕人
・経営ネットワーク支援 ・障害者余暇活動支援：会計・庶務		斎藤 央 佐田 友美

交流会担当	
忘年会	ゆずのき学童クラブ
スポーツ交流会	という
交換研修担当	
調布市希望の家	
ポコポコリビング	
引継ぎ事業所：ゆずのき学童クラブ（中島）	
運動会担当	
しごと場大好き	広沢
会計監査	
ファーストステップ	
ほりで〜ぶらん	
ファーストステップ	関